

世界において chronic regional pain (慢性局所痛症) の治療と線維筋痛症の治療は異なるか

戸田克広

## 世界においてchronic regional pain（慢性局所痛症）の治療と線維筋痛症の治療は異なるか

廿日市記念病院リハビリテーション科

戸田克広

### 抄録

2012年8月27-31日にミラノ（イタリア）で開催された14th World Congress on Pain（国際疼痛学会の学術集会）においてポスター演題の演題名にfibromyalgiaが含まれている演題の発表者にCRPの治療はFMの治療と同じかどうか口頭で尋ねた。17人中9人（52.9%）は同じ、6人（35.3%）は異なる、2人（11.8%）は症状によるであった。

### 目的

Chronic regional pain（CRP: 慢性局所痛症）は通常、アメリカリウマチ学会が1990年に定めた分類基準[1]に記載されたchronic widespread pain（CWP: 慢性広範痛症）の基準を満たさないが、腰痛のみや肩こりのみより痛みの範囲が広いが明確な診断がつかない状態と定義されている。線維筋痛症（FM）の治療を行っている者にCRPの治療方法を尋ねた。

### 方法

2012年8月27-31日にミラノ（イタリア）で開催された14th

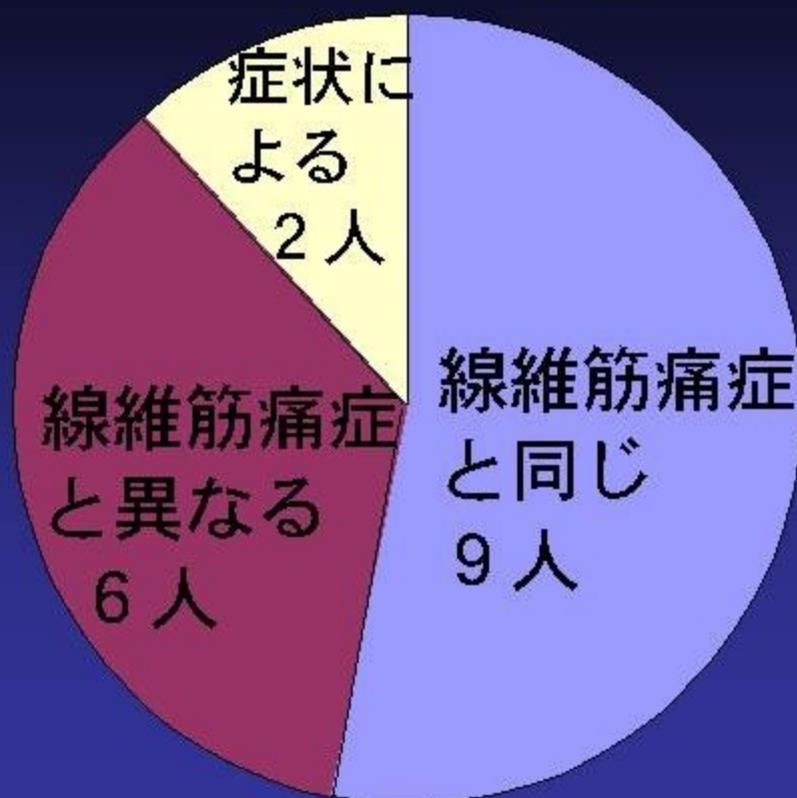
World Congress on Pain（国際疼痛学会の学術集会）においてポスター演題の演題名にfibromyalgiaが含まれている演題の発表者にCRPの治療はFMの治療と同じかどうか口頭で尋ねた。不明、わからないという回答は除外した。

## 結果（図1）

スペイン4人、ドイツ、カナダ、アメリカは各2人、オーストラリア、スイス、タイ、フィンランド、ブラジル、フランス、ベルギーは各1人であった。

17人中9人（52.9%）は同じ、6人（35.3%）は異なる、2人（11.8%）は症状によるであった。

図1 Chronic regional pain（慢性局所痛症）  
の治療方法



## 考察

先進国におけるFMの有病率は約2%、FMを含むCWPの有病率は約10%、CRPの有病率はCWPの有病率の少なくとも1倍と報告されている[2]。通常は10年以上が経過して腰痛や肩こりからCRP、CWPを経由してFMが発症する。一般論として臨床症状はFM>CWP>CRPである[3]。つまりCWPやCRPはFMの不完全型と推測される。演者が2008年にグラスゴー（イギリス）で開催された12th World Congress on Painで同様の方法でCWPの治療を尋ねると、23人中19人（82.6%）ではFMと同じ治療であり、3人（13.0%）では類似しており、1人（4.3%）ではCWPには投薬をしていなかった[4]。本研究ではそれほどではないがFMと同じ治療を行っているとは回答した者が多かった。その差はCWPとCRPの差が原因かもしれないし、質問を行った対象者が異なることが原因かもしれない。

治療が同じであれば、臨床の観点からはFMとCWPやCRPを鑑別する意義はほとんどない。つまりFMの診断基準は臨床の観点からはほとんど意義はないことになる[5]。1990年の分類基準ではFMの診断基準を満たさない場合の対処方法が不明瞭であるという批判があるが、2010年基準も2011年基準も診断基準を満たさない場合の対処方法という点では不明瞭である。複合性局所疼痛症候群（CRPS）などの慢性痛では、従来から診断基準を満たさない病態に対しては診断基準を満たす病態と同じ治療が行われている。その経験があれば、1990年の分類基準ではFMの診断基準を満たさない場合の対処方法が不明瞭であるという批判は起こらない。

## まとめ

14th World Congress on Painにおいてポスター演題の演題名にfibromyalgiaが含まれている演題の発表者17人にCRPの治療はFMの治療と同じかどうか口頭で尋ねると、9人（52.9%）は同じ、6人（35.3%）は異なる、2人（11.8%）は症状によるであった。

## 引用文献

- 1) Wolfe F, Smythe HA, Yunus MB, Bennett RM, Bombardier C, Goldenberg DL, Tugwell P, Campbell SM, Abeles M, Clark P, Fam AG, Farber SJ, Fiechtner JJ, Franklin CR, Gatter RA, Hamaty D, Lessard J, Lichtbroun AS, Masi AT, McCain GA, Reynolds WJ, Romano TJ, Russell IJ, Sheon RP: The American College of Rheumatology 1990 Criteria for the Classification of Fibromyalgia. Report of the Multicenter Criteria Committee. *Arthritis Rheum.* 33: 160-172, 1990.
- 2) Toda K, Harada T: Prevalence, classification, and etiology of pain in Parkinson's disease: association between Parkinson's disease and fibromyalgia or chronic widespread pain. *Tohoku J Exp Med.* 222: 1-5, 2010.
- 3) Toda K: Comparison of symptoms among fibromyalgia syndrome, chronic widespread pain, and an incomplete form of chronic widespread pain. *J Musculoskelet Pain.* 19: 52-55, 2011.
- 4) Toda K: Treatment of chronic widespread pain is similar to

treatment of fibromyalgia throughout the world. *J Musculoskelet Pain.* 18: 317-318, 2010.

5) Toda K: Purpose and significance of the 2010 criteria and modification of the 2010 criteria for fibromyalgia. *J Rheumatol.* 39: 1294, 2012.

## 著者紹介

戸田克広（とだかつひろ）

1985年新潟大学医学部医学科卒業。元整形外科医。2001年から2004年までアメリカ国立衛生研究所（National Institutes of Health: NIH）に勤務した際、線維筋痛症に出会う。帰国後、線維筋痛症を中心とした中枢性過敏症候群や原因不明の痛みの治療を専門にしている。2007年から廿日市記念病院リハビリテーション科（自称慢性痛科）勤務。『線維筋痛症がわかる本』（主婦の友社）を2010年に出版。電子書籍『抗不安薬による常用量依存—恐ろしすぎる副作用と医師の無関心、抗不安薬の罠、日本医学の闇—』<http://p.booklog.jp/book/62140>を2012年に出版。ブログにて線維筋痛症を中心とした中枢性過敏症候群や痛みの情報を発信している。実名でツイッターをしている。

2010年に『線維筋痛症がわかる本』を書いて約3年になります。すでに絶版になりましたが、電子書籍は購入可能です。新しい薬物の発売などがあり修正が必要です。現在、一般人が理解可能な医学書を書いている最中です。線維筋痛症のみならずその周辺疾患や抗うつ薬などの英語論文を徹底的に読み、そこで得た知識を実践した経験を基にした書籍です。線維筋痛症の治療はほとんどすべての慢性痛に有効です。医学書を出版していただける出版社があれば声をかけていただければ幸いです。

ツイッター：@KatsuhikoTodaMD

実名でツイッターをしています。キーワードに「線維筋痛症」と入れればすぐに私のつぶやきが出てきます。痛みや抗不安薬に関する問題であれば遠慮なく質問して下さい。私ができる範囲でお答えいたします。

電子書籍：抗不安薬による常用量依存—恐ろしすぎる副作用と医師の無関心、精神安定剤の罠、日本医学の闇

—<http://p.booklog.jp/book/62140>

日本医学の悪しき習慣である抗不安薬の使用方法に対する内部告発の書籍です。276の引用文献をつけています。2012年の時点では抗不安薬による常用量依存に関して最も詳しい日本語医学書です。医学書ですが、一般の方が理解できる内容になっています。

・戸田克広：「正しい線維筋痛症の知識」の普及を目指して!—ま  
ず知ろう診療のポイント—. CareNet 2011

<http://www.carenet.com/conference/qa/autoimmune/mt110927/index.html>

薬の優先順位など、私が行っている線維筋痛症の最新の治療方法を記載しています。

・戸田克広：線維筋痛症の基本. CareNet 2012

<http://www.carenet.com/special/1208/contribution/index.html>

さらに最新の情報を記載しています。線維筋痛症における薬の優先順位を記載しています。

英語の電子書籍です。

Physicians in the chronic pain field should participate in nosology and diagnostic criteria of medically unexplained pain in the Diagnostic and Statistical Manual of Mental Disorders-6

[http://www.amazon.com/participate-unexplained-Statistical-Disorders-6-ebook/dp/B00BH2QJG4/ref=sr\\_1\\_2?s=digital-](http://www.amazon.com/participate-unexplained-Statistical-Disorders-6-ebook/dp/B00BH2QJG4/ref=sr_1_2?s=digital-)

[text&ie=UTF8&qid=1361180502&sr=1-2&keywords=katsuhiro+Toda](http://www.amazon.com/participate-unexplained-Statistical-Disorders-6-ebook/dp/B00BH2QJG4/ref=sr_1_2?s=digital-text&ie=UTF8&qid=1361180502&sr=1-2&keywords=katsuhiro+Toda)

医学的に説明のつかない痛みを精神科医は身体表現性障害と診断し、痛みの専門家は線維筋痛症あるいはその不完全型と診断しています。治療成績は後者の方がよいと推測されます。2013年に精神科領域の世界標準の診断基準であるDSM-5が運用予定です。次のDSM-6では医学的に説明のつかない痛みに対する分類や診断基準を決める際には痛みの専門家を加えるべきです。

Focus on chronic regional pain and chronic widespread

pain\_Unification of disease names of chronic regional pain, chronic widespread pain, and fibromyalgia\_

[http://www.amazon.com/regional-widespread-pain\\_Unification-](http://www.amazon.com/regional-widespread-pain_Unification-fibromyalgia_-ebook/dp/B00BH0GK7O/ref=sr_1_1?s=digital-)

[fibromyalgia\\_-ebook/dp/B00BH0GK7O/ref=sr\\_1\\_1?s=digital-](http://www.amazon.com/regional-widespread-pain_Unification-fibromyalgia_-ebook/dp/B00BH0GK7O/ref=sr_1_1?s=digital-text&ie=UTF8&qid=1361180502&sr=1-1&keywords=katsuhiro+Toda)

[text&ie=UTF8&qid=1361180502&sr=1-1&keywords=katsuhiro+Toda](http://www.amazon.com/regional-widespread-pain_Unification-fibromyalgia_-ebook/dp/B00BH0GK7O/ref=sr_1_1?s=digital-text&ie=UTF8&qid=1361180502&sr=1-1&keywords=katsuhiro+Toda)  
線維筋痛症の不完全型である慢性広範痛症や慢性局所痛症と線維筋痛症を区別する臨床的意義はありません。

ブログ：[腰痛、肩こりから慢性広範痛症、線維筋痛症へー中枢性](#)

[過敏症候群一戸田克広](http://fibro.exblog.jp/) <http://fibro.exblog.jp/>

線維筋痛症を中心にした中枢性過敏症候群や抗不安薬による常用量依存などに関する最新の英語論文の翻訳や、痛みに関する私の意見を記載しています。

線維筋痛症に関する情報

戸田克広: 線維筋痛症がわかる本. 主婦の友社, 東京, 2010.

医学書ではない一般書ですが、引用文献を400以上つけており、医師が読むに耐える一般書です。

通常の書籍のみならず電子書籍もあります。

電子書籍（アップル版、アンドロイド版、パソコン版）

<http://bukure.shufunotomo.co.jp/digital/?p=10451>

通常の書籍、電子書籍（kindle版）

[http://www.amazon.co.jp/%E7%B7%9A%E7%B6%AD%E7%AD%8B%E7%97%9B%E7%97%87%E3%81%8C%E3%82%8F%E3%81%8B%E3%82%8B%E6%9C%AC-ebook/dp/B0095BMLE8/ref=tmm\\_kin\\_title\\_0](http://www.amazon.co.jp/%E7%B7%9A%E7%B6%AD%E7%AD%8B%E7%97%9B%E7%97%87%E3%81%8C%E3%82%8F%E3%81%8B%E3%82%8B%E6%9C%AC-ebook/dp/B0095BMLE8/ref=tmm_kin_title_0)

電子書籍（XPDF形式）

<http://books.livedoor.com/item/4801844>

世界においてchronic regional pain（慢性局所痛症）の治療と線維筋痛症の治療は異なるか

2013年10月12日 第1版第1刷発行

<http://p.booklog.jp/book/77826>

著者：戸田克広

発行者：吉田健吾

発行所：株式会社ブックログ

〒150-8512東京都渋谷区桜丘町26-1 セルリアンタワー

<http://booklog.co.jp>

世界においてchronic regional pain（慢性局所痛症）の治療と線維筋痛症の治療は異なるか

<http://p.booklog.jp/book/77826>

著者：戸田克広

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/katsuhitodamd/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/77826>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/77826>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社ブックログ